

# 宮古市水防計画

## 図表編

# 目 次

図表 2-1	宮古市水防本部組織編成表	1
図表 2-2	宮古市水防隊の編成	2
図表 3-1	重要水防箇所評定基準（国管理）	3
図表 4-1	気象等予報・警報	4
	（1）気象予報・警報等の種類及び伝達	4
	（3）注意報の基準	7
	（4）宮古市の警報・注意報発表基準一覧表	7
別表ア	大雨（浸水害）警報・注意報危険度分布基準	17
別表イ	洪水警報・注意報危険度分布基準	18
図表 4-1-3	噴火警報等	20
図表 4-1-4	特別警報等	21
図表 4-1-5	気象警報と取るべき行動	21
図表 4-2	水防上必要な気象予報・警報の伝達系統図	23
図表 4-3	岩手県知事の行う水防警報	24
図表 4-4	岩手県の行う水防警報連絡系統図	25
図表 5-1	雨量の観測箇所一覧	26
図表 5-3	雨量、水位観測所連絡系統図	27
図表 5-4	水位の観測箇所一覧表（管内別）	28
図表 5-5	危機管理型水位計による水位の観測箇所一覧	29
図表 7-1	津波、高潮時 連絡系統図	30
図表 8-1	水防関係機関電話番号一覧表	31
図表 9-1	県有水防資材、器具の備蓄状況	32
図表 9-2	水防資機材・器具の備蓄状況	33
図表 16-1	浸水想定区域・公表河川一覧	34
図表 18-1	砂防指定地指定表	36

図表 2 - 1 宮古市水防本部組織編成表

宮古市水防本部組織編成表

<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">本部長 宮古市長</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>副本部長 宮古市副市長</td> <td></td> </tr> </table>							本部長 宮古市長		副本部長 宮古市副市長																	
本部長 宮古市長																										
副本部長 宮古市副市長																										
指揮監	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>指揮 班長</th> <th>班別</th> <th>班長</th> <th>副班長</th> <th>班員</th> <th>事務分掌</th> </tr> <tr> <td>危機管理課長</td> <td>防災・水防 総務班</td> <td style="color: red;">副主幹</td> <td>—</td> <td>危機管理課員</td> <td>情報収集、伝達、気象予警報の伝達に関すること。 水防に関する庶務、連絡資材調達に関すること。</td> </tr> </table>						指揮 班長	班別	班長	副班長	班員	事務分掌	危機管理課長	防災・水防 総務班	副主幹	—	危機管理課員	情報収集、伝達、気象予警報の伝達に関すること。 水防に関する庶務、連絡資材調達に関すること。								
	指揮 班長	班別	班長	副班長	班員	事務分掌																				
	危機管理課長	防災・水防 総務班	副主幹	—	危機管理課員	情報収集、伝達、気象予警報の伝達に関すること。 水防に関する庶務、連絡資材調達に関すること。																				
	危機管理監	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>指揮 隊長</th> <th>隊別</th> <th>隊長</th> <th>副隊長</th> <th>分隊長</th> <th>隊員</th> <th>事務分掌</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">消防対策課長</td> <td>第一水防隊</td> <td>副主幹</td> <td>—</td> <td>主査</td> <td>消防対策課員</td> <td>水防に関する予警報の伝達、情報収集及び報告に関すること。 緊急避難に関すること。 水防活動に関すること。</td> </tr> <tr> <td>第二水防隊</td> <td>消防団長</td> <td>消防副団長</td> <td>消防分団長</td> <td>分団員</td> <td>警戒巡視、水こう門の操作及び水防工法施行に関すること。</td> </tr> </table>						指揮 隊長	隊別	隊長	副隊長	分隊長	隊員	事務分掌	消防対策課長	第一水防隊	副主幹	—	主査	消防対策課員	水防に関する予警報の伝達、情報収集及び報告に関すること。 緊急避難に関すること。 水防活動に関すること。	第二水防隊	消防団長	消防副団長	消防分団長	分団員
指揮 隊長		隊別	隊長	副隊長	分隊長	隊員	事務分掌																			
消防対策課長		第一水防隊	副主幹	—	主査	消防対策課員	水防に関する予警報の伝達、情報収集及び報告に関すること。 緊急避難に関すること。 水防活動に関すること。																			
	第二水防隊	消防団長	消防副団長	消防分団長	分団員	警戒巡視、水こう門の操作及び水防工法施行に関すること。																				
企画部長	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>指揮 班長</th> <th>班別</th> <th>班長</th> <th>副班長</th> <th>班員</th> <th>事務分掌</th> </tr> <tr> <td>企画課長</td> <td>広報班</td> <td style="color: red;">係長</td> <td>—</td> <td>企画課員</td> <td>市民への広報活動に関すること。</td> </tr> </table>						指揮 班長	班別	班長	副班長	班員	事務分掌	企画課長	広報班	係長	—	企画課員	市民への広報活動に関すること。								
指揮 班長	班別	班長	副班長	班員	事務分掌																					
企画課長	広報班	係長	—	企画課員	市民への広報活動に関すること。																					
指揮監	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>指揮 班長</th> <th>班別</th> <th>班長</th> <th>副班長</th> <th>班員</th> <th>事務分掌</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">建設課長</td> <td>情報連絡班</td> <td>副主幹 業務・管理 担当長</td> <td>—</td> <td>業務・管理担当員</td> <td>水防に関する情報収集及び連絡に関すること。 交通安全と道路施設の保全並びに交通の禁止及び制限に関すること。</td> </tr> <tr> <td>車両班</td> <td rowspan="2">主査 維持担当長</td> <td rowspan="2">—</td> <td>維持担当員 運転技士 道路補修員</td> <td>車両配置及び資材調達運搬に関すること。</td> </tr> <tr> <td>応急班</td> <td>維持担当員</td> <td>道路、橋りょう、河川の応急復旧に関すること。</td> </tr> </table>						指揮 班長	班別	班長	副班長	班員	事務分掌	建設課長	情報連絡班	副主幹 業務・管理 担当長	—	業務・管理担当員	水防に関する情報収集及び連絡に関すること。 交通安全と道路施設の保全並びに交通の禁止及び制限に関すること。	車両班	主査 維持担当長	—	維持担当員 運転技士 道路補修員	車両配置及び資材調達運搬に関すること。	応急班	維持担当員	道路、橋りょう、河川の応急復旧に関すること。
	指揮 班長	班別	班長	副班長	班員	事務分掌																				
	建設課長	情報連絡班	副主幹 業務・管理 担当長	—	業務・管理担当員	水防に関する情報収集及び連絡に関すること。 交通安全と道路施設の保全並びに交通の禁止及び制限に関すること。																				
		車両班	主査 維持担当長	—	維持担当員 運転技士 道路補修員	車両配置及び資材調達運搬に関すること。																				
応急班		維持担当員			道路、橋りょう、河川の応急復旧に関すること。																					
都市整備部長	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>指揮 班長</th> <th>班別</th> <th>班長</th> <th>副班長</th> <th>班員</th> <th>事務分掌</th> </tr> <tr> <td>建築住宅課長</td> <td>応急仮設班</td> <td style="color: red;">室長</td> <td>—</td> <td>建築室員</td> <td>応急仮設住宅の建設、住宅の応急修理及び応急収容施設に関すること。</td> </tr> </table>						指揮 班長	班別	班長	副班長	班員	事務分掌	建築住宅課長	応急仮設班	室長	—	建築室員	応急仮設住宅の建設、住宅の応急修理及び応急収容施設に関すること。								
	指揮 班長	班別	班長	副班長	班員	事務分掌																				
建築住宅課長	応急仮設班	室長	—	建築室員	応急仮設住宅の建設、住宅の応急修理及び応急収容施設に関すること。																					

図表 2 - 2 宮古市水防隊の編成

所在	所属	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
五月町	消防団本部	1	3	13		3	5	<u>13</u>	<u>38</u>
新川町	第1分団			1	1	2	4	7	15
向町	第2分団			1	1	2	6	<u>7</u>	<u>17</u>
横町	第3分団			1	1	2	6	11	21
藤原一丁目	第4分団			1	1	1	6	<u>8</u>	<u>17</u>
愛宕一丁目	第5分団			1	1	2	5	9	18
鍬ヶ崎上町	第6分団			1	1	2	6	3	13
鍬ヶ崎下町	第7分団			1	1	2	6	<u>16</u>	<u>26</u>
大通三丁目	第8分団			1	1	2	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>13</u>
栄町	第9分団			1	1	2	<u>5</u>	12	<u>21</u>
磯鷄沖	第10分団			1	1	2	5	<u>12</u>	<u>21</u>
高浜二丁目	第11分団			1	1	2	4	<u>12</u>	<u>20</u>
千徳町	第12分団			1	1	2	5	<u>13</u>	<u>22</u>
近内	第13分団			1	1	2	4	<u>9</u>	<u>17</u>
田代	第14分団			1	1	2	<u>5</u>	<u>9</u>	<u>18</u>
白浜	第15分団			1	1	2	4	<u>8</u>	<u>16</u>
崎山	第16分団			1	1	2	6	<u>18</u>	<u>28</u>
田鎖	第17分団			1	1	2	6	<u>23</u>	<u>33</u>
長沢	第18分団			1	1	2	<u>4</u>	<u>10</u>	<u>18</u>
老木	第19分団			1	1	2	5	<u>8</u>	<u>17</u>
津軽石本町	第20分団			1	1	1	4	<u>10</u>	<u>17</u>
津軽石新町	第21分団			1	1	2	<u>4</u>	<u>10</u>	<u>18</u>
赤前	第22分団			1	1	2	<u>5</u>	<u>9</u>	<u>18</u>
津軽石荷竹	第23分団			1	1	<u>1</u>	5	<u>7</u>	<u>15</u>
重茂 里	第24分団			1	1	2	6	<u>20</u>	<u>30</u>
重茂 千鶏	第25分団			1	1	2	6	<u>20</u>	<u>30</u>
音部	第26分団			1	1	2	6	25	35
重茂 仲組	第27分団			1	1	2	6	11	<u>21</u>
田老館が森	第28分団			1	1	1	2	12	<u>17</u>
田老館が森	第29分団			1	1	1	3	9	<u>15</u>
田老 荒谷	第30分団			1	1	2	3	11	<u>18</u>
田老小堀内	第31分団			1	1	2	4	9	17
田老 撰待	第32分団			1	1	1	5	<u>13</u>	<u>21</u>
田老 神田	第33分団			1	1	2	6	<u>5</u>	<u>15</u>
臺目	第34分団			1	1	1	6	12	21
茂市	第35分団			1	1	1	6	<u>22</u>	<u>31</u>
腹帯	第36分団			1	1	1	3	<u>8</u>	<u>14</u>
刈屋	第37分団			1	1	1	6	31	40
刈屋 中里	第38分団			1	1	1	5	<u>19</u>	<u>27</u>
和井内	第39分団			1	1	1	6	<u>20</u>	<u>29</u>
川井下川井 古田	第40分団			1	1	2	9	<u>12</u>	<u>25</u>
箱石 鈴久名	第41分団			1	1	2	6	<u>9</u>	<u>19</u>
川内 夏屋	第42分団			1	1	2	<u>6</u>	<u>9</u>	<u>19</u>
平津戸 松草 区界	第43分団			1	1	2	3	<u>13</u>	<u>10</u>
小国 湯沢 大仁田	第44分団			1	1	3	9	<u>22</u>	<u>36</u>
江繫 向田 尻石	第45分団			1	1	3	6	<u>9</u>	<u>20</u>
小計		1	3	58	45	<u>83</u>	<u>237</u>	<u>560</u>	<u>987</u>

図表 3 - 1 重要水防箇所評定基準（国管理）

種別	重要度等		要注意区間
	A 水防上最も重要な区間	B 水防上重要な区間	
越水 (溢水)	計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあっては計画高潮位)が現況の堤防高を超える箇所。	計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあっては計画高潮位)と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
堤体漏水	堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴(被災状況が確認できるもの)があり、類似の変状が繰り返し生じている箇所。 堤体の土質、法勾配等からみて、堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の生じるおそれがあり、かつ堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴(被災状況が確認できるもの)がある箇所。 水防団等と意見交換を行い、堤体漏水が生じる可能性が特に高いと考えられる箇所。	堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴(被災状況が確認できるもの)があり、安全が確認されていない箇所、又は堤防の機能に支障は生じていないが、進行性がある堤体の変状が集中している箇所。 堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の履歴(被災状況が確認できるもの)はないが、堤体の土質、法勾配等からみて堤防の機能に支障が生じる堤体の変状の生じるおそれがあると考えられる箇所。 水防団等と意見交換を行い、堤体漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。	
基礎地盤漏水	堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴(被災状況が確認できるもの)があり、類似の変状が繰り返し生じている箇所。 基礎地盤の土質等からみて堤防の機能に支障が生じる変状の生じるおそれがあり、かつ堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴(被災状況が確認できるもの)がある箇所。 水防団等と意見交換を行い、基礎地盤漏水が生じる可能性が特に高いと考えられる箇所。	堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴(被災状況が確認できるもの)があり、安全が確認されていない箇所、又は堤防の機能に支障は生じていないが、進行性がある基礎地盤漏水に関する変状が集中している箇所。 堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴(被災状況が確認できるもの)はないが、基礎地盤漏水の土質等からみて堤防の機能に支障が生じる変状の生じるおそれがあると考えられる箇所。 水防団等と意見交換を行い、基礎地盤漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。	
水衝・洗堀	水衝部にある堤防の全面の河床が深堀れしているが、その対策が未施工の箇所。 橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所、堤防護岸の根固め等が洗われ一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。 波浪による河岸の決壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。	水衝部にある堤防の全面の河床が深堀れにならない程度に洗堀されているが、その対策が未施工の箇所。	
工作物	河川管理施設等応急対策基準に基づく改善措置が必要な堰、橋梁、樋管その他の工作物の設置されている箇所。 橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等が計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあっては計画高潮位)以下となる箇所。	橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等と計画高水流量規模の洪水の水位(高潮区間の堤防にあっては計画高潮位)との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。	
工事施工			出水期間中に堤防を開削する工事箇所又は仮締切等により本堤に影響を及ぼす箇所。
新堤防 ・破堤跡 ・旧川跡			新堤防で築造後3年以内の箇所。 破堤跡又は旧川跡の箇所。
陸間			陸間が設置されている箇所。

図表 4 - 1 気象等予報・警報

(1) 気象予報・警報等の種類及び伝達

①気象予報・警報等の種類

ア 警戒レベルを用いた防災情報の提供

警戒レベルとは、災害発生のおそれの高まりに応じて「居住者等がとるべき行動」を5段階に分け、「居住者等がとるべき行動」と「当該行動を居住者等に促す情報」とを関連付けるものである。

「居住者等がとるべき行動」、「行動を居住者等に促す情報」及び「行動をとる際の判断に参考となる情報」をそれぞれ警戒レベルに対応させることで、出された情報からとるべき行動を直感的に理解できるよう、災害の切迫度に応じて、5段階の警戒レベルにより提供する。

なお、居住者等には「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、避難指示が発令された場合はもちろんのこと、発令される前であっても行政等が出す防災気象情報に十分留意し、災害が発生する前に自らの判断で自発的に避難することが望まれる。

種 類	内 容
早期注意情報（警報級の可能性）	5日先までの警報級の現象の可能性が[高]、[中]の2段階で発表。当日から翌日にかけては時間帯を区切って、内陸、沿岸北部、沿岸南部単位で、2日先から5日先にかけては日単位で、内陸、沿岸単位で発表される。大雨に関して、明日までの期間に[高]又は[中]が予想されている場合は、災害への心構えを高める必要があることを示す警戒レベル1である。
気象情報	気象の予報等について、特別警報・警報・注意報に先立って注意を喚起する場合や、特別警報・警報・注意報が発表された後の経過や予想、防災上の注意を解説する場合等に発表される。
土砂災害警戒情報	大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するため、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、県と盛岡地方気象台から共同で発表される。市町村内で危険度が高まっている詳細な領域は大雨警報（土砂災害）の危険度分布（土砂災害警戒判定メッシュ情報）で確認することができる。危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当。
記録的短時間大雨情報	大雨警報発表中の市町村において、キキクルの「非常に危険」（うす紫）が出現し、かつ数年に一度程度しか発生しないような猛烈な雨（1時間降水量）が観測（地上の雨量計による観測）又は解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析）されたときに、気象庁から発表される。この情報が発表されたときは、土砂災害及び、低地の浸水や中小河川の増水・氾濫による災害発生につながるような猛烈な雨が降っている状況であり、実際に災害発生の危険度が高まっている場所をキキクルで確認する必要がある。
竜巻注意情報	積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風に対して注意を呼びかける情報で、雷注意報が発表されている状況下において竜巻等の激しい突風の発生しやすい気象状況になっているときに、内陸、沿岸北部、沿岸南部に気象庁から発表される。なお、実際に危険度が高まっている場所については竜巻発生確度ナウキャストで確認することができる。また、竜巻の目撃情報が得られた場合には、目撃情報があった地域を示し、その周辺で更なる竜巻等の激しい突風が発生するおそれが非常に高まっている旨を付加した情報が内陸、沿岸北部、沿岸南部単位で発表される。この情報の有効期間は、発表から概ね1時間である。

② 地震に関する情報

種類	発表基準	内容
震度速報	震度3以上	地震発生約1分半後に震度3以上を観測した地域名（全国を約188地域に区分）と地震の揺れの検知時刻を速報。
震源に関する情報	震度3以上（大津波警報、津波警報又は津波注意報を発表した場合は発表しない）	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 「津波の心配がない」又は「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加。
震源・震度に関する情報	以下のいずれかを満たした場合 ・震度3以上 ・大津波警報・津波警報・津波注意報発表時 ・若干の海面変動が予想される場合 ・緊急地震速報（警報）を発表した場合	地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度3以上を観測した地域名と市町村名を発表。 震度5弱以上と考えられる地域で震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表。
各地の震度に関する情報	震度1以上	震度1以上を観測した地点のほか、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表。 震度5弱以上と考えられる地域で震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表。
推計震度分布図	震度5弱以上	観測した各地の震度データをもとに1km四方ごとに推計した震度（震度4以上）を図情報として発表。
長周期地震動に関する観測情報	震度3以上	高層ビル内での被害の発生可能性等について、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、地域ごと及び地点ごとの長周期地震動階級等を発表（地震発生から約20～30分後に気象庁ホームページ上に掲載）
遠地地震に関する情報	国外で発生した地震について以下のいずれかを満たした場合等 ・マグニチュード7以上 ・都市部等著しい被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合	地震の発生時刻、発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を概ね30分以内に発表。 日本や国外への津波の影響に関しても記述して発表。
その他の情報	顕著な地震の震源要素を更新した場合や地震が多発した場合等	顕著な地震の震源要素更新のお知らせや地震が多発した場合の震度1以上を観測した地震回数情報等を発表。

③津波に関する情報

種類	内容
津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報	各津波予報区の津波の到達予想時刻や予想される津波の高さを5段階の数値（メートル単位）又は「巨大」や「高い」という言葉で発表。

各地の満潮時刻・津波到達予想時刻に関する情報	主な地点の満潮時刻や津波の到達予想時刻を発表。
津波観測に関する情報	沿岸で観測した津波の時刻や高さを発表。 <ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸で観測された津波の第一波の到達時刻と押し引き及びその時点までに観測された最大波の観測時刻。</li> <li>最大波の観測値については、大津波警報または津波警報を公表中の津波予報区において、観測された津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」の言葉で発表し、津波が到達中であることを伝える。</li> </ul>
沖合の津波観測に関する情報	沖合で観測した津波の時刻や高さ、及び沖合の観測値から推定される沿岸での津波の到達時刻や高さを津波予報区単位で発表。 <ul style="list-style-type: none"> <li>沖合で観測された津波の第一波の観測時刻と押し引き、その時点までに観測された最大波の観測時刻と高さを観測点ごと発表。また、これら沖合の観測値から推定される沿岸での推定値(第一波の推定到達時刻、最大波の推定到達時刻と推定高さ)を津波予報区単位で発表。</li> <li>最大波の観測値及び推定値については、沿岸での観測と同じように避難行動への影響を考慮し、一定の基準を満たすまでは数値を発表しない。大津波警報または津波警報が公表中の津波予報区において、沿岸で推定される津波の高さが低い間は、数値ではなく「観測中」(沖合での観測値)又は「推定中」(沿岸での推定値)の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝える。</li> <li>沿岸からの距離が100kmを超えるような沖合の観測点では、津波予報区との対応付けが難しいため、沿岸での推定値は発表しない。また、最大波の観測値について数値ではなく「観測中」の言葉で発表して、津波が到達中であることを伝える。</li> </ul>
津波に関するその他の情報	津波に関するその他必要な事項を発表。

#### ④火山に関する情報

種類	内容
火山状況に関する解説情報	噴火警戒レベルの引上げ基準に現状達していないが、噴火警戒レベルを引き上げる可能性があるかと判断した場合、または判断に迷う場合に、「火山の状況に関する解説情報(臨時)」を発表する。 また、現時点では、噴火警戒レベルを引き上げる可能性は低いが、火山活動に変化がみられるなど、火山活動の状況を伝える必要があると判断した場合には、「火山の状況に関する解説情報」を適時発表する。
噴火速報	噴火の発生事実を迅速に発表する情報。登山者や周辺住民に火山が噴火したことを端的にいち早く伝え、身を守る行動をとってもらうために発表。なお、以下のような場合には発表しない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>普段から噴火している火山において、普段と同じ規模の噴火が発生した場合</li> <li>噴火の規模が小さく、噴火が発生した事実をすぐに確認できない場合</li> </ul>
噴火に関する火山観測情報	噴火が発生したことや、噴火に関する情報(噴火の発生時刻・噴火高度・噴煙の流れる方向・噴火に伴って観測された火山現象等)を噴火後直ちに発表する。
降灰予報	降灰予報(定時) <ul style="list-style-type: none"> <li>噴火警報発表中の火山で、噴火により人々の生活に影響を及ぼす降灰が予想される場合に、定期的(3時間ごと)に発表。</li> <li>噴火の発生にかかわらず一定規模の噴火を仮定して定期的に発表。</li> <li>18時間先(3時間区切り)までに噴火した場合に予想される降灰範囲や小さな噴石の落下範囲を提供。</li> </ul> 降灰予報(速報)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・噴火が発生した火山に対して、事前計算した降灰予報結果の中から最適なものを出して、噴火発生後5～10分程度で発表。</li> <li>・噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を提供。</li> <li>・降灰予想（定時）を発表中の火山では、降灰への防災対応が必要となる「やや多量」以上の降灰が予想された場合に発表。</li> <li>・降灰予想（定時）が未発表の火山では、噴火に伴う降灰域を速やかに伝えるため、予測された降灰が「少量」のみであっても必要に応じて発表。</li> </ul> <p>降灰予想（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・噴火が発生した火山に対して、降灰予測計算（数値シミュレーション計算）を行い、噴火発生後20～30分程度で発表。</li> <li>・噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布や、降灰開始時刻を提供。</li> <li>・降灰予想（定時）を発表中の火山では、降灰への防災対策が必要となる「やや多量」以上の降灰が予想された場合に発表。</li> <li>・降灰予想（定時）が未発表中の火山では、噴火に伴う降灰域を速やかに伝えるため、予測された降灰が「少量」のみであっても必要に応じて発表。</li> <li>・降灰予報（速報）を発表した場合には、予想降灰量によらず、降灰予想（詳細）も発表。</li> </ul>
--	--

(3) 注意報の基準

※ 地震で地盤がゆがんだり火山の噴火で火山灰が積もったりして災害発生にかかわる条件が変化した場合、通常とは異なる基準（暫定基準）で発表することがある。また、災害の発生状況によっては、この基準にとられず運用することもある。大きな地震等が発生し、通常よりも災害が発生しやすいと認められる場合は、大雨等の警報及び注意報の基準を暫定的に引き下げて運用することがある。東日本大震災後、宮古市は高潮警報を30cm引き下げて運用している。

(4) 宮古市の警報・注意報発表基準一覧表

令和4年5月26日現在

発表官署 盛岡地方気象台

宮古市	府県予報区		岩手県		
	一次細分区域		沿岸北部		
	市をまとめた地域		宮古地域		
警報	大雨	(浸水害)	表面雨量指数基準	11	
		(土砂災害)	土壌雨量指数基準	90	
	洪水		流域雨量指数基準	閉伊川流域=53.3, 山口川流域=5.5, 近内川流域=9.6, 長沢川流域=18.0, 牛伏沢流域=6.5, 飛沢川流域=6.8, 刈屋川流域=27.2, 小国川流域=27.9, 夏屋川流域=10.1, 大野川流域=7.1, 北川目沢流域=9.2, 平沢流域=5.9, 岩穴沢流域=11.6, 尻石沢流域=12.7, 中之又沢流域=6.9, 薬師川流域=14.5, 湯沢川流域=7.3, 撰待川流域=17.7, 神田川流域=14.4, 八木沢川流域=7.7, 津軽石川流域=27.1, 田代川流域=18.8, 根井沢川流域=3.8, 音部川流域=10.5, 重茂川流域=14.8, 女遊戸川流域=9.2, 小田代川流域=8.1, 大沢川流域=11.2, 長内川流域=11, 石浜沢流域=10.8	
			複合基準*1	閉伊川流域=(5, 47.9), 近内川流域=(5, 8.7), 長沢川流域=(9, 14.9), 牛伏沢流域=(5, 5.8), 刈屋川流域=(5, 24.4), 小国川流域=(5, 25.1), 夏屋川流域=(5, 9), 平沢流域=(5, 5.3), 岩穴沢流域=(5, 10.4), 尻石沢流域=(5, 11.4), 薬師川流域=(5, 14.3), 撰待川流域=(5, 17.1), 神田川流域=(5, 13.5), 八木沢川流域=(5, 6.9), 津軽石川流域=(5, 27.1), 田代川流域=(5, 16.9), 根井沢川流域=(5, 3.4), 音部川流域=(5, 9.4), 小田代川流域=(5, 7.8), 長内川流域=(5, 9.9)	
			指定河川洪水予報による基準	-	
暴風		平均風速	陸上	16m/s	
			海上	20m/s	

	暴風雪	平均風速	陸上	16m/s 雪を伴う		
			海上	20m/s 雪を伴う		
	大雪	降雪の深さ	平野部	12時間降雪の深さ 30cm		
			山沿い	12時間降雪の深さ 50cm		
	波浪	有義波高	6.0m			
	高潮	潮位	1.2m			
	注意報	大雨	表面雨量指数基準	5		
			土壌雨量指数基準	58		
		洪水	流域雨量指数基準	閉伊川流域=26.7, 山口川流域=4.4, 近内川流域=7.6, 長沢川流域=14.4, 牛伏沢流域=5.2, 飛沢川流域=5.4, 刈屋川流域=21.7, 小国川流域=22.3, 夏屋川流域=8, 大野川流域=5.6, 北川目沢流域=7.3, 平沢流域=4.7, 岩穴沢流域=9.2, 尻石沢流域=10.1, 中之又沢流域=5.5, 薬師川流域=11.6, 湯沢川流域=5.8, 撰待川流域=14.1, 神田川流域=11.5, 八木沢川流域=6.1, 津軽石川流域=20.7, 田代川流域=15, 根井沢流域=3, 音部川流域=8.4, 重茂川流域=11.8, 女遊戸川流域=9.2, 小田代川流域=8.1, 大沢川流域=11.2, 長内川流域=11, 石浜沢流域=10.8		
			複合基準*1	閉伊川流域=(5, 26.7), 山口川流域=(5, 3.5), 近内川流域=(5, 7.6), 長沢川流域=(5, 13.4), 牛伏沢流域=(5, 5.2), 飛沢川流域=(5, 5.4), 刈屋川流域=(5, 19.5), 小国川流域=(5, 19.9), 夏屋川流域=(5, 6.4), 大野川流域=(5, 4.5), 北川目沢流域=(5, 7.3), 平沢流域=(5, 3.8), 岩穴沢流域=(5, 9.2), 尻石沢流域=(5, 10.1), 中之又沢流域=(5, 5.5), 薬師川流域=(5, 9.3), 撰待川流域=(5, 17.1), 神田川流域=(5, 13.5), 湯沢川流域=(5, 5.8), 撰待川流域=(5, 11.3), 神田川流域=(5, 11.5), 八木沢川流域=(5, 6.1), 田代川流域=(5, 15), 根井沢流域=(5, 3), 音部川流域=(5, 9.4), 小田代川流域=(5, 7.8), 長内川流域=(5, 9.9)		
指定河川洪水予報による基準			-			
強風		平均風速	陸上	10m/s		
			海上	15m/s		
風雪		平均風速	陸上	10m/s 雪を伴う		
			海上	15m/s 雪を伴う		
大雪		降雪の深さ	平野部	12時間降雪の深さ 15cm		
	山沿い		12時間降雪の深さ 20cm			
波浪	有義波高	3.0m				
高潮	潮位	0.9m				
雷	落雷等により被害が予想される場合					
融雪	融雪により被害が予想される場合					
濃霧	視程	陸上	100m			
		海上	500m			
乾燥	①最小湿度 40%、実効湿度 65%、風速 7m/s 以上が2時間継続					
	②最小湿度 35%、実効湿度 60%					
なだれ	①山沿いで24時間降雪の深さが40cm以上					
	②積雪が50cm以上で、日平均気温5℃以上の日が継続					
低温	夏期：最高・最低・平均気温のいずれかが、平年より4～5℃以上低い日が数日以上続くとき					
	冬期：①最低気温が氷点下6℃以下であって、最低気温が平年より4℃以上低いとき ②最低気温が氷点下6℃以下であって、最低気温が平年より2℃以上低い日が数日続くとき					
霜	早霜、晩霜期におおむね最低気温2℃以下（早霜期は農作物の生育を考慮し実施する）					
着氷・着雪	大雪注意報の条件下で気温が-2℃より高い場合					
記録的短時間大雨情報		1時間雨量	100mm			

\*1（表面雨量指数，流域雨量指数）の組み合わせによる基準値を表しています。

別表ア 大雨（浸水害）警報・注意報危険度分布基準

令和4年5月26日現在

市町村	基準Ⅲ	基準Ⅱ		基準Ⅰ	
	大雨警報（浸水害）の基準を大きく超過した表面雨量指数基準	大雨警報（浸水害）		大雨注意報	
		表面雨量指数基準	表面雨量指数基準	土壌雨量指数基準	表面雨量指数基準
宮古市	19	11	90	5	58
山田町	15	10	133	7	86

岩泉町	17	13	82	6	53
田野畑村	15	11	120	6	78

※ 基準Ⅲ：大雨警報（浸水害）の基準を大きく超過する基準

※ 基準Ⅱ：警報基準

※ 基準Ⅰ：注意報基準

別表イ 洪水警報・注意報危険度分布基準

令和4年5月26日現在

市町村	基準Ⅲ	基準Ⅱ		基準Ⅰ	
	洪水警報の流域雨量指数基準を大きく超過した基準	洪水警報		洪水注意報	
	流域雨量指数基準	流域雨量指数基準	複合基準 ※1	流域雨量指数基準	複合基準 ※1

宮古市	閉伊川流域=58.6, 山口川流域=8.4, 近内川流域=10.6, 長沢川流域=19.8, 牛伏沢流域=7.2, 飛沢川流域=7.5, 刈屋川流域=29.9, 小国川流域=30.7, 夏屋川流域=11.1, 大野川流域=7.8, 北川目沢流域=10.1, 平沢流域=6.5, 岩穴沢流域=12.8, 尻石沢流域=14, 中之又沢流域=7.6, 薬師川流域=16, 湯沢川流域=8, 撰待川流域=19.5, 神田川流域=15.8, 八木沢川流域=8.5, 津軽石川流域=29.8, 田代川流域=20.7, 根井沢川流域=5.8 音部川流域=11.6, 重茂川流域=16.3, 女遊戸川流域=10.1, 小田代川流域=9, 大沢川流域=12.3, 長内川流域=12.1, 石浜沢川流域=11.9	閉伊川流域=53.3, 山口川流域=5.5, 近内川流域=9.6, 長沢川流域=18, 牛伏沢流域=6.5, 飛沢川流域=6.8, 刈屋川流域=27.2, 小国川流域=27.9, 夏屋川流域=10.1, 大野川流域=7.1, 北川目沢流域=9.2, 平沢流域=5.9, 岩穴沢流域=11.6, 尻石沢流域=12.7, 中之又沢流域=6.9, 薬師川流域=14.5, 湯沢川流域=7.3, 撰待川流域=17.7, 神田川流域=14.4, 八木沢川流域=7.7, 津軽石川流域=27.1, 田代川流域=18.8, 根井沢川流域=3.8 音部川流域=10.5, 重茂川流域=14.8, 女遊戸川流域=9.2, 小田代川流域=8.1, 大沢川流域=11.2, 長内川流域=11, 石浜沢川流域=10.8	閉伊川流域= (5, 47.9), 近内川流域= (5, 8.7), 長沢川流域= (9, 14.9), 牛伏沢流域= (5, 5.8), 刈屋川流域= (5, 24.4), 小国川流域= (5, 25.1), 夏屋川流域= (5, 9), 平沢流域= (5, 5.3), 岩穴沢流域= (5, 10.4), 尻石沢流域= (5, 11.4), 薬師川流域= (5, 14.3), 撰待川流域= (5, 17.1), 神田川流域= (5, 13.5), 八木沢川流域= (5, 6.9), 津軽石川流域= (5, 27.1), 田代川流域= (5, 16.9), 根井沢川流域= (5, 3.4) 音部川流域= (5, 9.4), 小田代川流域= (5, 7.8), 長内川流域= (5, 9.9)	閉伊川流域=26.7, 山口川流域=4.4, 近内川流域=7.6, 長沢川流域=14.4, 牛伏沢流域=5.2, 飛沢川流域=5.4, 刈屋川流域=21.7, 小国川流域=22.3, 夏屋川流域=8, 大野川流域=5.6, 北川目沢流域=7.3, 平沢流域=4.7, 岩穴沢流域=9.2, 尻石沢流域=10.1, 中之又沢流域=5.5, 薬師川流域=11.6, 湯沢川流域=5.8, 撰待川流域=14.1, 神田川流域=11.5, 八木沢川流域=6.1, 津軽石川流域=20.7, 田代川流域=15, 根井沢川流域=3 音部川流域=8.4, 重茂川流域=11.8, 女遊戸川流域=7.3, 小田代川流域=6.4, 大沢川流域=8.9, 長内川流域=8.8, 石浜沢川流域=8.6	閉伊川流域= (5, 26.7), 山口川流域= (5, 3.5), 近内川流域= (5, 7.6), 長沢川流域= (5, 13.4), 牛伏沢流域= (5, 5.2), 飛沢川流域= (5, 5.4), 刈屋川流域= (5, 19.5), 小国川流域= (5, 19.9), 夏屋川流域= (5, 6.4), 大野川流域= (5, 4.5), 北川目沢流域= (5, 7.3), 平沢流域= (5, 3.8), 岩穴沢流域= (5, 9.2), 尻石沢流域= (5, 10.1), 中之又沢流域= (5, 5.5), 薬師川流域= (5, 9.3), 湯沢川流域= (5, 5.8), 撰待川流域= (5, 14.1), 神田川流域= (5, 11.5), 八木沢川流域= (5, 6.1), 津軽石川流域= (5, 20.7), 田代川流域= (5, 15), 根井沢川流域= (5, 3) 音部川流域= (5, 8.4), 女遊戸川流域= (5, 7.3),
-----	--	---	---	---	---

					小田代川流域= (5, 6.4), 大沢川流域= (5, 8.9), 長内川流域= (5, 8.8)
山田町	津軽石川流域=26.6, 豊間根川流域=15.7, 関口川流域=10.3, 織笠川流域=17.1	津軽石川流域=24.2, 豊間根川流域=14.3, 関口川流域=9.4, 織笠川流域=13.8	織笠川流域= (5, 12.4)	津軽石川流域=19.3, 豊間根川流域=11.4, 関口川流域=7.5, 織笠川流域=11	津軽石川流域= (6, 15.4), 関口川流域= (5, 7.5), 織笠川流域= (5, 11)
岩泉町	安家川流域=26.5, 年々沢流域=7.5, 折壁川流域=10, 小本川流域=50.8, 長内川流域=4.9, 鼠入川流域=16.4, 清水川流域=13, 宇津野沢流域=7.9, 大川流域=27.7, 松橋川流域=9.7, 摂待川流域=13.4, 小成川流域=9.1	安家川流域=16, 年々沢流域=6.5, 折壁川流域=9.1, 小本川流域=42.2, 長内川流域=3.8, 鼠入川流域=13.8, 清水川流域=11.8, 宇津野沢流域=7.2, 大川流域=24.7, 松橋川流域=8.8, 摂待川流域=12.2, 小成川流域=8.3	安家川流域= (6, 16), 年々沢流域= (6, 5.8), 折壁川流域= (6, 8.1), 小本川流域= (6, 37.9), 長内川流域= (6, 3.4), 鼠入川流域= (6, 12.4), 清水川流域= (6, 10.6), 宇津野沢流域= (6, 6.4), 大川流域= (6, 22.2), 松橋川流域= (6, 7.9)	安家川流域=11.5, 年々沢流域=5.2, 折壁川流域=7.2, 小本川流域=21.1, 長内川流域=3, 鼠入川流域=11, 清水川流域=9.4, 宇津野沢流域=5.7, 大川流域=19.7, 松橋川流域=7, 摂待川流域=9.7, 小成川流域=6.6	安家川流域= (6, 10.2), 年々沢流域= (6, 4.2), 折壁川流域= (6, 5.8), 小本川流域= (5, 12.6), 長内川流域= (6, 2.4), 鼠入川流域= (6, 8.8), 清水川流域= (5, 9.4), 宇津野沢流域= (6, 4.6), 大川流域= (6, 15.8), 松橋川流域= (5, 7), 小成川流域= (5, 6.6)
田野畑村	三田市川流域=5.1, 普代川流域=10.6, 明戸川流域=10, 平井賀川流域=8.3, 松前川流域=12.2, 白池川流域=5.5, 姫松川流域=8.3, 田代川流域=7.3	三田市川流域=4.6, 普代川流域=9.6, 明戸川流域=9.1, 平井賀川流域=7.5, 松前川流域=11.1, 白池川流域=5, 姫松川流域=7.5, 田代川流域=6.6		三田市川流域=3.6, 普代川流域=7.6, 明戸川流域=7.2, 平井賀川流域=6, 松前川流域=8.8, 白池川流域=4, 姫松川流域=6, 田代川流域=5.2	

※ 1 複合基準は（表面雨量指数、流域雨量指数）の組み合わせによる基準値

※ 基準Ⅲ：洪水警報の基準を大きく超過した基準（50年に一度超えるかどうかという値（50年確率値））

※ 基準Ⅱ：警報基準（30年に一度超えるかどうかという値（30年確率値））

※ 基準Ⅰ：注意報基準

#### 図表4-1-3 噴火警報等

##### 3 噴火警報等

###### (1) 噴火警報（居住地域）・噴火警報（火口周辺）

仙台管区気象台が噴火に伴って発生し生命に危険を及ぼす火山現象（大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流等、発生から短時間で火口周辺や居住地域に到達し、避難までの時間的猶予がほとんどない火山現象）の発生やその拡大が予想される場合に「警戒が必要な範囲」（生命に危険を及ぼす範囲）を明示して発表する。「警戒が

必要な範囲」に居住地域が含まれる場合は「噴火警報(居住地域)」(または「噴火警報」)、含まれない場合は「噴火警報(火口周辺)」(または「火口周辺警報」)として発表。噴火警報(居住地域)は、警戒が必要な居住地域を含む市町村に対する火山現象特別警報に位置付けられる。

別表カ 噴火警戒レベルが運用されていない火山

名称	対象範囲	発表基準	(警戒事項等)
噴火警報(居住地域) または噴火警報	居住地域及びそれより 火口側	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高 まってきていると予想される場合	居住地域 嚴重警戒
噴火警報(火口周辺) または火口周辺警報	火口から居住地域近く までの広い範囲の火口 周辺	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入っ た場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生すると予想され る場合	入山危険
	火口から少し離れた所 までの火口周辺	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命 に危険が及ぶ)噴火が発生すると予想される場合	火口周辺危険
噴火予報	火口内等	火山活動は静穏 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見ら れる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)	活火山であること に留意

図表 4-1-4 特別警報等

(2) 特別警報の指標

【雨を要因とする特別警報の指標】

- ・ 確率値を用いた場合

※1 土壌雨量指数：降った雨が地土壤中にどれだけ溜まっているかを数値化したもの。

- ・ 指数を用いた場合(土砂災害)

過去の多大な被害をもたらした現象に相当する土壌雨量指数の基準値を地域毎に設定し、この基準値以上となる 1km 格子が概ね 10 格子以上まとまって出現すると予想され、かつ激しい雨※3 がさら降り続くと予想される場合、その格子が出現している市町村等に大雨特別警報(土砂災害)を発表します。

※3 1 時間以内に概ね 30 ミリ以上の雨

図表 4-1-5 気象警報と取るべき行動

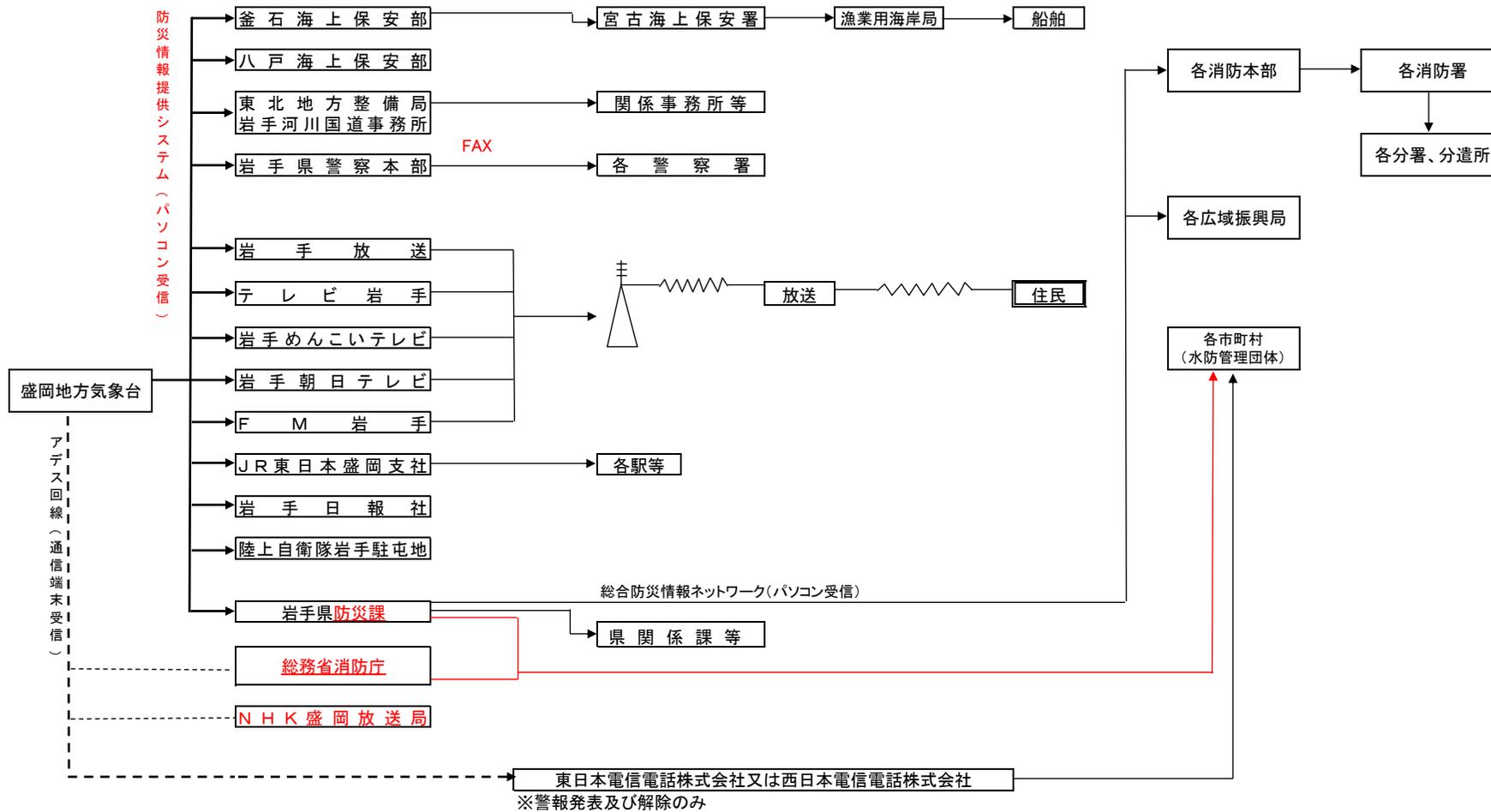
気象警報等の種類			注意報 (災害の起こるおそれ)	警報 (重大な災害の起こるおそれ)	特別警報 (重大な災害の起こるおそれが著しく大きい)
	大雨	土砂災害	大雨注意報		大雨警報 (土砂災害)
浸水害		大雨警報 (浸水害)			大雨特別警報 (浸水害)
	暴風	強風注意報		暴風警報	暴風特別警報
	高潮	高潮注意報		高潮警報	高潮特別警報
	波浪	波浪注意報		波浪警報	波浪特別警報
	暴風雪	風雪注意報		暴風雪警報	暴風雪特別警報
	大雪	大雪注意報		大雪警報	大雪特別警報
		・警戒区域の巡回		・避難の呼びかけ	・直ちに最善を尽くして

市町村の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 注意呼びかけ</li> <li>・ 気象情報の収集</li> <li>・ 職員の連絡態勢確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要地域に （避難指示） （高齢者等避難）</li> <li>・ 応急対応態勢確立</li> <li>・ 避難場所の準備、開設</li> <li>・ 警報を住民へ周知</li> </ul>	<p>身を守るように住民に呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別警報発表を住民へ周知する。</li> </ul>
住民の行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気象情報に注意する</li> <li>・ 窓や雨戸など点検</li> <li>・ 避難場所の確認</li> <li>・ 非常持出し品の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早めの自主避難</li> <li>・ 暴風警報は、安全な場所に退避</li> <li>・ 避難準備</li> </ul>	<p>直ちに命を守る行動をとる。</p>

図表4-2 水防上必要な気象予報・警報の伝達系統図

水防上必要な気象予報・警報の伝達系統図

水防上必要な気象予報・警報の伝達系統図



図表4-3 岩手県知事の行う水防警報

岩手県知事の行う水防警報

岩手県知事の行う水防警報

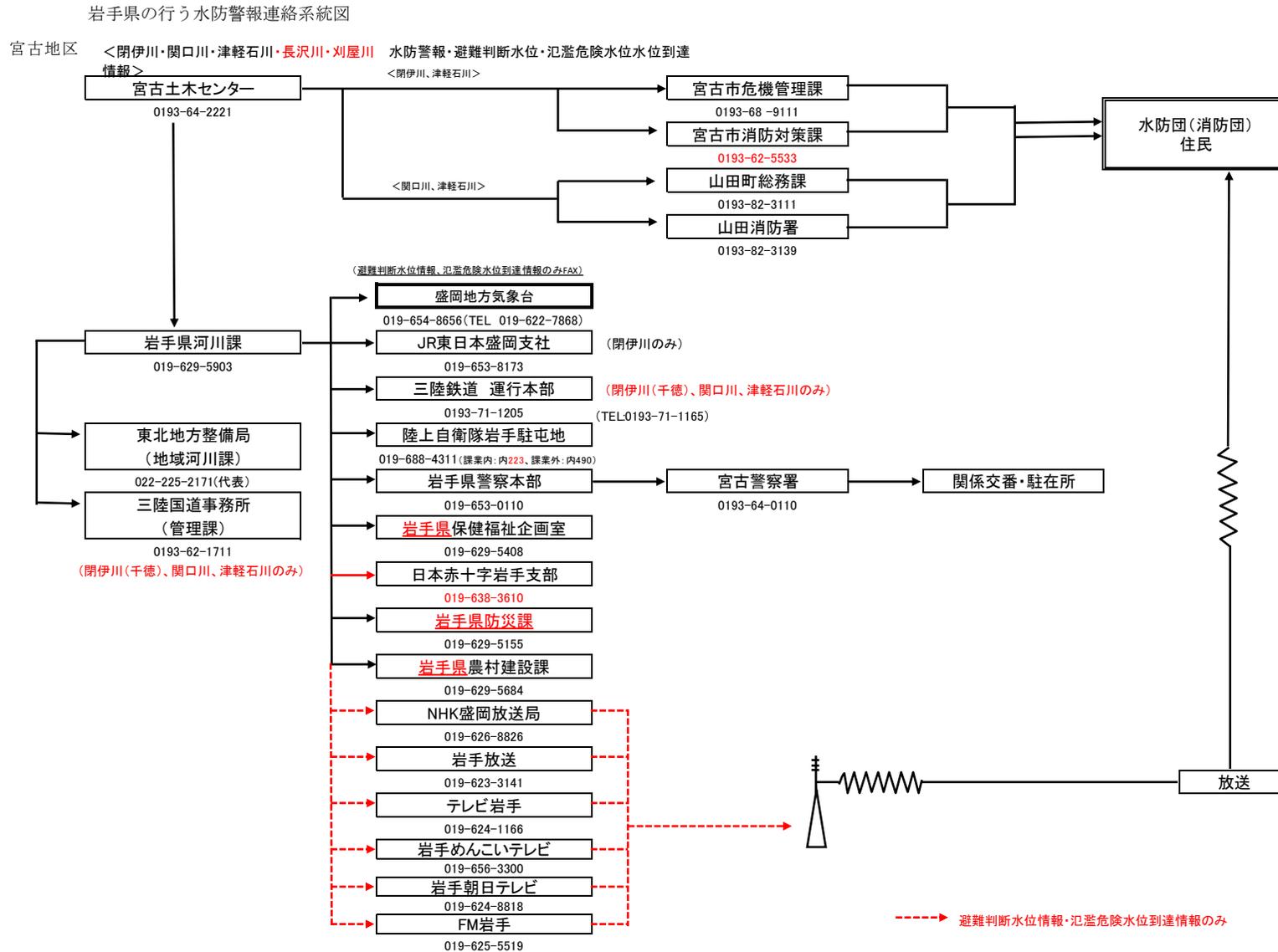
水防警報名	区域（左岸） 区域（右岸）	河川名	観測所名	零点高標高 (m)	水防警報河川		水位周知河川		準備	出動	解除	情報
					水防団待機水位 (通報水位) (m)	はん濫注意水位 (警戒水位) (m)	避難判断水位 (m)	はん濫危険水位 (m)				
閉伊川	左岸 宮古市大字千徳第12地割宇羽黒坊1番地1地先(花輪橋)から 右岸 宮古市大字田鎮第12地割宇糸濱場94番1地先(根市河制工)から	河口まで 閉伊川 河口まで	千徳	5.258	2.5	3.1	3.7	3.9	2.5m	3.1m	同上	同上
閉伊川	左岸 宮古市川井第1地割86番地1地先(小国川合流地点)から 宮古市茂市第5地割111番地1地先(刈屋川合流点)まで 右岸 宮古市川井第6地割14番地先(小国川合流点)から 宮古市茂市第8地割94番地1地先(刈屋川合流点)まで	閉伊川	川井	177.600	1.4	2.0	2.4	2.9	1.4m	2.0m	同上	同上
※1 津軽石川	左岸 下閉伊郡山田町豊間根17地割72番2地先(日当橋)から 右岸 下閉伊郡山田町豊間根17地割72番14地先(日当橋)から	河口まで 津軽石川 河口まで	新町	3.000	2.1	2.7	2.7	3.0	2.2m(注) 2.1m	2.7m	同上	同上
※2 刈屋川	左岸 宮古市茂市第12地割9地先(倉の沢川合流点)から 宮古市茂市第2地割253番4地先(閉伊川合流点)まで 右岸 宮古市茂市第11地割101番地1地先(倉の沢川合流点)から 宮古市茂市第5地割108番2地先(閉伊川合流点)まで	刈屋川	繁の木橋	56.330	1.7	2.7	4.3	4.7	1.7m	2.7m	同上	同上
長沢川	左岸 宮古市長沢第8地割1番5地先(北川目沢合流点)から 宮古市千徳第13地割25番2地先(閉伊川合流点)まで 右岸 宮古市長沢第7地割12番5地先(北川目沢合流点)から 宮古市千徳第13地割25番2地先(閉伊川合流点)まで	長沢川	田鎮橋	5.963	1.2	2.2	2.7	3.4	1.2m	2.2m	同上	同上

※1 津軽石川は、震災の影響による暫定基準(水防団待機水位2.2m→2.1m)により運用しています。

※2 刈屋川、長沢川は令和4年3月22日に指定

図表4-4 岩手県が行う水防警報連絡系統図

岩手県が行う水防警報連絡系統図



図表5-1 雨量の観測箇所一覧

雨量の観測箇所一覧

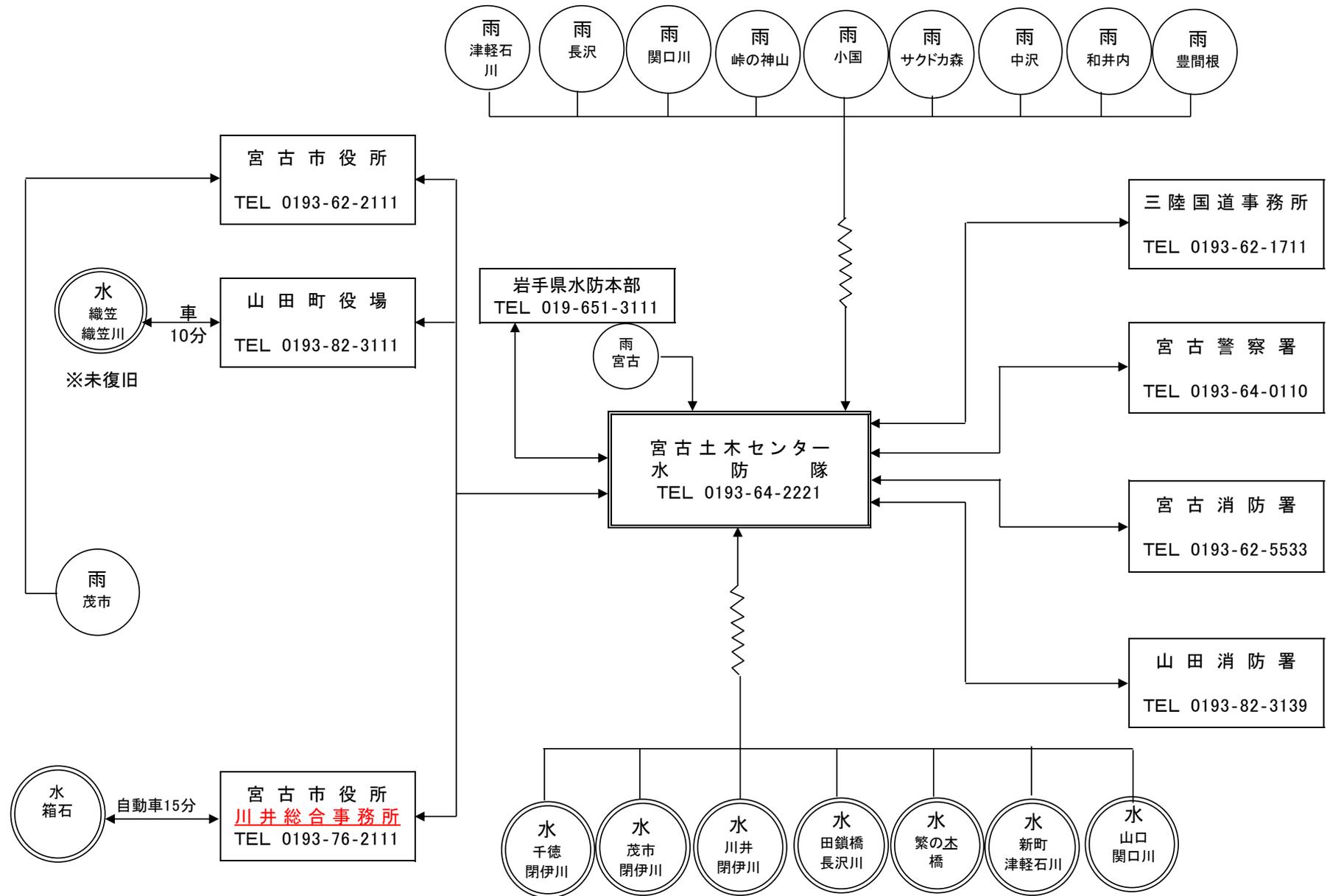
雨量の観測箇所一覧

※ 東日本大震災の地殻変動により、「緯度」「経度」「標高」は正確な情報ではないことがあります。

<宮古土木センター管内>

市町村名	観測所名	所管	所在地	設置場所	緯度	経度	標高 (m)	既往最大 日雨量	観測 年月日	観測開始 年月日	観測方式	備考
宮古市	宮古	宮古土木センター	五月町 1-20	宮古地区合同庁舎	39° ~38' ~41"	141° ~56' ~57"	25	303	S56.9.27	不明	テレメーター	通報、公表
宮古市	中沢	宮古土木センター	長沢		39° ~35' ~30"	141° ~52' ~30"	90			H11.4.1	テレメーター	通報、公表
宮古市	津軽石川 (新町)	宮古土木センター	津軽石新町下第9地割 字吉原 56-1		39° ~34' ~47"	141° ~56' ~36"	5			H6.4.1	テレメーター	通報、公表
宮古市	宮古	気象庁	鎌ヶ崎下町	宮古特別地域気象観 測所	39° ~38.8'	141° ~57.9'	43	319.0	H12.7.8	M16.3.1	アメダス	
宮古市	長沢	宮古土木センター	腹帯 4-143-1	長沢牧場	39° ~32' ~25"	141° ~45' ~24"	1025	191	S56.9.27	S54.4.1	テレメーター	通報、公表
宮古市	峠の神山	宮古土木センター	和井内7地割 1		39° ~43' ~12"	141° ~47' ~5"	1160	(2日)356	S56.9.27	S54.4.1	テレメーター	通報、公表
宮古市	和井内	宮古土木センター	和井内第11地割2番	和井内小学校	39° ~41' ~16"	141° ~42' ~55"	235	137.5	S56.8.23	S25.4.1	テレメーター	通報、公表
宮古市	小国	宮古土木センター	大字江葉第11地割35 番地	大久保集会所	39° ~32' ~41"	141° ~39' ~39"	270			H11.4.1	テレメーター	通報、公表
宮古市	区界	気象庁	区界第2地割		39° ~39'	141° ~21.2'	734	145	H19.9.17	H5.10.7	アメダス	
宮古市	川井	気象庁	川井		39° ~35.9'	141° ~40.9'	192	183	H28.8.30	S52.12.2	アメダス	

図表5-3 雨量、水位観測所連絡系統図



図表5-4 水位の観測箇所一覧表（管内別）

水位の観測箇所一覧

※ 東日本大震災の地殻変動により、「緯度」「経度」「量水標0点高」は正確な情報ではないことがあります。

水系名	河川名	観測所名	所管	所在地	設置場所	緯度	経度	水防団 待機 水位 (m)	氾濫 注意 水位 (m)	避難 判断 水位 (m)	氾濫 危険 水位 (m)	堤防 天端高 (m)	量水標 0点高 (TP高) (m)	既往 最大 水位 (m)	起因 年月日	観測開始 年月日	観測方式	備考
閉伊川	閉伊川	千徳	宮古土木センター	宮古市 田鎖12地割	花輪橋	39° ~37' ~49"	141° ~54' ~42"	2.50	3.10	3.70	3.90	8.360	5.285	4.30	S23.9.16	S20.3.30	テレメータ	公表、通報
閉伊川	閉伊川	茂市	宮古土木センター	宮古市 茂市第9地割字太長根 126-2	刈屋川合流点下流 150m	39° ~37' ~10"	141° ~48' ~23"	1.00	1.50			6.500	44.430	5.65	S23.9.16	S26.7.5	テレメータ	公表、通報
閉伊川	閉伊川	川井	宮古土木センター	宮古市 大字川井字上川井第1地 割180-1	川井大橋上流50m	39° ~35' ~55"	141° ~40' ~49"	1.40	2.00	2.40	2.90	5.350	177.600	4.80	S23.9.16	S24.10	テレメータ	公表、通報
閉伊川	閉伊川	箱石	宮古土木センター	宮古市 箱石				1.00	1.50			7.450	232.670	4.80	S23.9.16	S26.8.1	普通	
閉伊川	長沢川	田鎖橋	宮古土木センター	宮古市 田鎖5地割88番地	田鎖橋	39° ~37' ~00"	141° ~54' ~19"	1.20	2.20	2.70	3.40		5.963		H28.8.31	H29.9.21	テレメータ	公表、通報
閉伊川	刈屋川	繁の木橋	宮古土木センター	宮古市 茂市第1地割124番地2	繁の木橋	39° ~37' ~45"	141° ~47' ~11"	1.70	2.70	4.30	4.70		56.330		H28.8.31	H29.9.21	テレメータ	公表、通報
津軽石川	津軽石川	新町	宮古土木センター	宮古市 津軽石第9地割字吉原 56-1	駒形橋下流300m	39° ~34' ~57"	141° ~56' ~23"	2.10	2.70	2.70	3.00	5.400	3.000	4.97	R1.10.13	S62.4.1	テレメータ	公表、通報
田代川	田代川	田老橋	宮古土木センター	宮古市 田老字古田		39° ~72' ~68"	141° ~96' ~36"						2.063				テレメータ	公表

新町の通報(指定)水位は、震災後の地盤沈下で暫定的に2.1mで運用中

図表5-5 危機管理型水位計による水位の観測箇所一覧

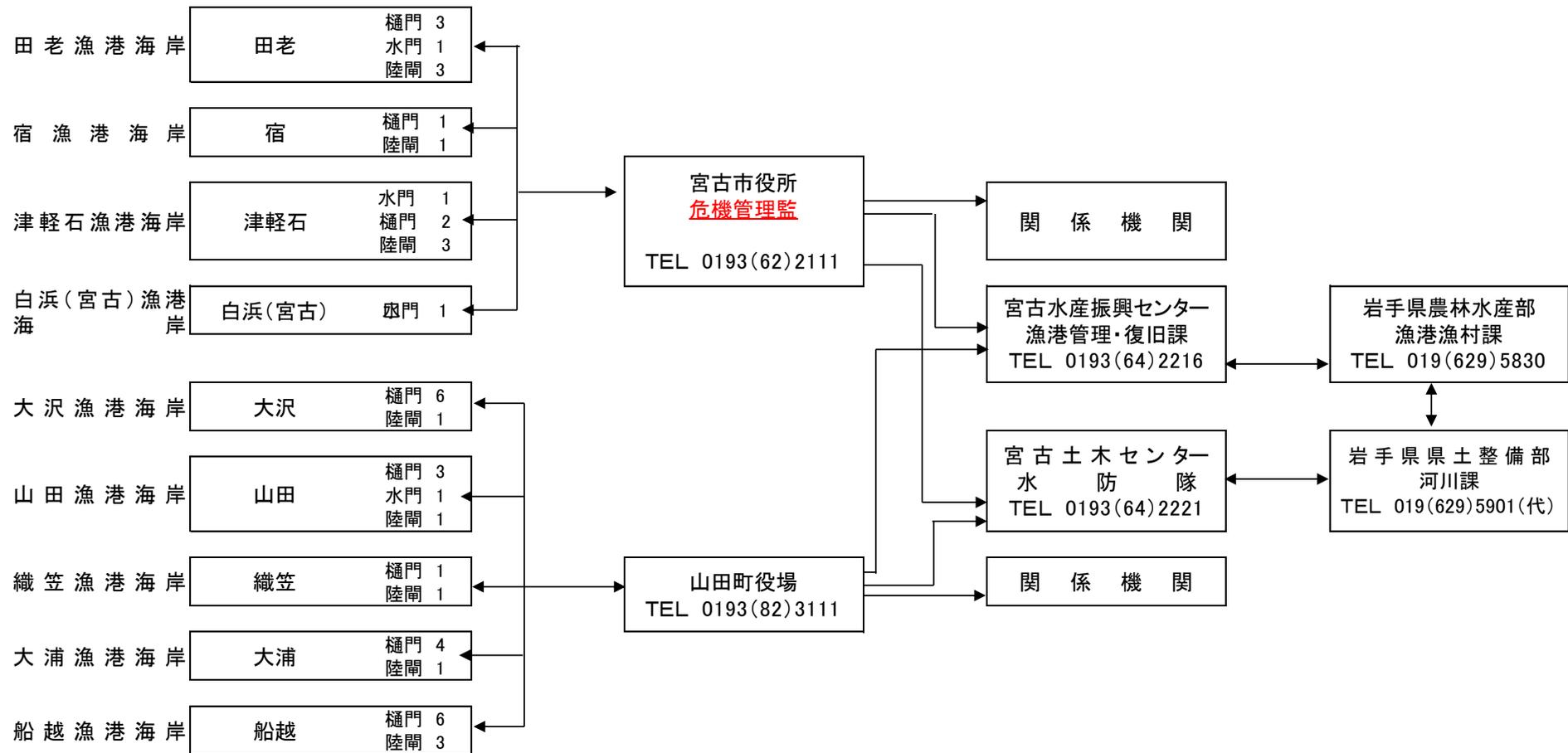
所在市町村	水系	河川	観測所名	所管	所在地	設置位置座標		備考
						緯度N	経度E	
<宮古土木センター管内>								
宮古市	重茂川水系	重茂川	館市橋	岩手県	宮古市重茂第5地割	39.570	142.023	
	八木沢川水系	八木沢川	岸ノ前橋	岩手県	宮古市実田2丁目2	39.624	141.954	
	閉伊川水系	閉伊川	腹帯橋	岩手県	宮古市腹帯第2地割	39.604	141.763	
	閉伊川水系	閉伊川	箱石大橋	岩手県	宮古市箱石第4地割	39.614	141.627	
	閉伊川水系	閉伊川	八幡橋	岩手県	宮古市川内	39.646	141.592	
	閉伊川水系	山口川	新開橋	岩手県	宮古市和見町	39.645	141.944	
	閉伊川水系	近内川	白石橋	岩手県	宮古市近内	39.645	141.919	
	閉伊川水系	飛沢川	永田橋	岩手県	宮古市墓目第8地割	39.635	141.830	
	閉伊川水系	二又川	愛宕橋	岩手県	宮古市墓目第8地割	39.635	141.840	
	閉伊川水系	刈屋川	古館橋	岩手県	右岸：宮古市和井内第19地割 左岸：宮古市和井内第17地割	39.685	141.716	
	閉伊川水系	倉の沢川	第二倉の沢橋	岩手県	宮古市刈谷	39.645	141.745	
	閉伊川水系	小国川	繫橋	岩手県	宮古市川井	39.568	141.662	
	閉伊川水系	小国川	永田橋	岩手県	宮古市永田第21地割	39.521	141.666	
	閉伊川水系	薬師川	日影橋	岩手県	宮古市江繋第9地割	39.536	141.655	
	閉伊川水系	鈴久名川	向坂橋	岩手県	宮古市鈴久名川	39.624	141.616	
	閉伊川水系	夏屋川	高橋橋	岩手県	宮古市夏屋第6地割	39.650	141.603	
	田代川水系	田代川	佐羽根橋	岩手県	宮古市田代第20地割	39.709	141.935	
	田代川水系	田代川	田代橋	岩手県	宮古市田代第6地割	39.703	141.900	
	田代川水系	神田川	馬場野下の橋	岩手県	宮古市田老字小林	39.731	141.952	
		根井沢川水系	根井沢川	根井沢橋	宮古市	宮古市津軽石第17地割	39.340	141.560
	摂待川水系	摂待川	摂待橋	岩手県	岩手県宮古市田老字摂待	39.483	141.575	
	計 17河川 21基							
山田町	織笠川水系	馬指野川	荻野橋	岩手県	下閉伊郡山田町織笠第22地割	39.425	141.919	
	織笠川水系	織笠川	田ノ沢橋	岩手県	右岸：下閉伊郡山田町織笠第17地割 左岸：下閉伊郡山田町織笠第16地割	39.443	141.941	
	大沢川水系	大沢川	雲南橋	岩手県	右岸：下閉伊郡山田町大沢第3地割 左岸：下閉伊郡山田町大沢第5地割	39.443	141.941	
	津軽石川水系	津軽石川	中村橋	岩手県	右岸：下閉伊郡山田町大沢第3地割 左岸：下閉伊郡山田町豊間根第19地割	39.519	141.919	
	津軽石川水系	荒川	山内橋	岩手県	右岸：下閉伊郡山田町豊間根第21地割 左岸：下閉伊郡山田町荒川第8地割	39.533	141.911	
		計 5河川 5基						
	合計 22河川 26基							

図表7-1 津波、高潮時 連絡系統図

図表7-1 津波、高潮時 連絡系統図

(2) 農林水産省、水産庁関係

宮古水産振興センター



図表 8-1 水防関係機関電話番号一覧表

機 関 名				【緊急連絡先】
名 称	住 所	市外局番	電話番号	※( )は災害優先番号 登録電話番号
岩手県沿岸広域振興局 宮古土木センター	宮古市五月町 1-20	0193	64-2221 (代)	合同庁舎 64-2013
宮古市役所	宮古市宮町 1 丁目 1-30	0193	62-2111 (代)	(62-2110・62-2121) 63-4166
山田町役場	下閉伊郡山田町八幡町 3-20	0193	82-3111 (代)	(82-3142)
国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所	宮古市藤の川 4-1	0193	62-1711 (代)	(62-1713・62-1714)
国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所宮古維持出張所	宮古市佐原 3 -21-4	0193	62-5077	63-8099
国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所宮古西維持出張所	宮古市千徳 14-29-5	0193	71-1760	71-1761
国土交通省東北地方整備局 釜石港湾事務所 宮古港出張所	宮古市磯鶏 1-1-14	0193	62-2911	62-2911
宮古市役所田老総合事務所	宮古市田老 1 丁目 3-4	0193	87-2111	(87-2116・87-3667)
宮古市役所新里総合事務所	宮古市茂市第 2 地割 112 番地 1	0193	72-2111	(72-2114)
宮古市役所川井総合事務所	宮古市川井第 2 地割 186 番地 1	0193	76-2111	(76-2111・76-2114)
宮古市役所崎山出張所	宮古市崎山第 1 地割 16 番地 1	0193	62-6036	(62-6036)
宮古市役所花輪出張所	宮古市花輪第 9 地割 11 番地 1	0193	69-2111	(69-2111)
宮古市役所津軽石出張所	宮古市津軽石第 4 地割 40 番地 6	0193	67-2111	(67-2111)
宮古市役所重茂出張所	宮古市重茂第 1 地割 61 番地	0193	68-2111	(68-2111)
宮古市役所小国出張所	宮古市小国第 20 地割 32 番地 3	0193	78-2111	(78-2111)
宮古市役所門馬出張所	宮古市区界第 3 地割 32 番地 20	0193	77-2111	77-2111
宮古市役所川内出張所	宮古市川内第 5 地割 7 番地 3	0193	75-2111	

図表9-1 県有水防資材、器具の備蓄状況

図表9-1 県有水防倉庫の水防備蓄器具資材一覧表						
河川名	管理者	水防倉庫所在地	建設年度	床面積(㎡)	器具	資材
粟石川	盛岡広域振興局土木部長	盛岡市上厨川15地割字杉原	S44	115	鎌25 スコップ62 ヘンチ20 トビクチハンマー4 のこぎり8 ツルハシ9 掛矢8 一輪車23 唐くわ10 シノ 9 大ハンマー10 斧4 縄あみ器40 エンジンチェンソー1	土のう4,000 大型土のう40 耐候性大型土のう60 松丸太4本(5m) 杉丸太40本(4m) トロープ(50m)3巻 ビニールシート(200m)5巻 木杭401 荒縄9巻 オイルマット(不織布タイプ)1100枚 オイルマット(浮遊活性炭タイプ)140枚 オイルフェンス(10m/本,連結タイプ)70m オイルフェンス(2m/本,浮遊活性炭タイプ)32m 油中和剤66ℓ フルシート13枚 防災シート40枚 土布シート(クロスシート)3枚 竹90本 鋼杭341本 塩ビ管(径12cm)12本 単管パイプ(4m)27本 袋詰めネット(3m×2.3m)50袋
豊沢川	花巻土木センター所長	花巻市中根子字道地	S47	115	鎌23 スコップ33 唐くわ5 掛矢12 おの3 ハンマー13 のこぎり5 金切のこ 3 つるはし3 一輪車22 リヤカー1 片手ハンマー2 シノ1 縄あみ器 15 金テコ 3 ベンチ1 番線カッター1 水タンク2	土のう14,700 大型土のう100 丸太杭(1.5)200本 丸太杭(1.8)150本 番線100kg 鋼杭(1.8)40本 鋼杭(1.5)50本 鋼杭(1.2)170本 ロープ8巻 トロープ1巻 フルシート7枚 オイルフェンス50m オイルフェンス(3m/本、浮遊活性炭タイプ)240m オイルマット204枚 歩板8枚 スイッチマット4枚 塩ビ管(3.0~4m)18本 鉄板(9mm)7枚 鉄板(12mm)1枚 単管パイプ(2m)66本 単管パイプ(3m)2本 ステンレス管12本 竹(3m)20本 竹(4m)4本 アルミ製ホール(2m)50本
和賀川	北上土木センター所長	北上市北鬼柳31地割48	S47	115	鎌5 スコップ20 掛矢10 おの5 のこぎり5 ハンマー5 トビクチ13 ツルハシ5 唐くわ5 ヘンチ5 かすがい9 ナタ5 一輪車2	土のう11,830 鉄線70kg 木杭(1.2~1.5m)107本 松丸太85 荒縄7巻 マロープ900m オイルマット480枚 ビニールシート50 あゆみ板14 オイルフェンス222m 杉丸太4本 スレイ油濾過吸着袋18袋 万国旗型オイルマット80m 鋼杭50本
人首川	県南広域振興局土木部長	奥州市江刺愛宕字金谷16-1	S47	115	鎌6 スコップ28 掛矢2 おの3 唐くわ3 ハンマー1 ツルハシ18 投光器2 一輪車7 トビクチ3 コムシート1 ホーク4	土のう袋2,500 松丸太100本 大型土のう袋265 鉄線500kg 歩板100パイプ(1.0m)50本パイプ(2.0m)100本 ブルーシート20枚 トロープ3巻 荒縄1束 オイルフェンス122m(2m×61) オイルマット80枚 木杭4 油濾過吸着袋36枚 吸着マット270枚
磐井川	一関土木センター所長	一関市真柴字中田60-1	H24	115	鎌8 スコップ106 掛矢27 手おの6 ヘンチ2 唐くわ5 ハンマー12 一輪車34 ナタ4 大ハンマー37 ハール3 ツルハシ5 コムシート2 ワイヤカッター3 シノ14 ラチェット大6 フォーク2 のこぎり2	土のう20,000袋 木杭136 縄6巻 ナマシ線20kg 杉丸太6(4m) 杉丸太3(5m) 本 綿ロープ300m 4巻 トロープ100m 2巻 オイルマット700枚 大型土のう350袋 オイルフェンス115m スイッチマット6枚 鋼杭74本 フルシート145枚
千厩川	千厩土木センター所長	一関市千厩町千厩字東小田285の1	H6	115	鎌8 スコップ18 掛矢7 唐くわ9 のこぎり4 ツルハシ10 ハンマー3 大ハンマー4 おの5 ベンチ7 トビクチ5 小トビクチ2 一輪車5 救命胴衣5 金コテ4 ハール3 投光器2 発電機1 長尺鎌4 番線50kg	土のう22,000 松丸太49(4m) 松杭31(1.2m) 松杭50(2.0m) 木杭340(0.6m) 唐竹11(2.9m) 竹串120(1.8m,60本×2束) 鉄線50kg ブルーシート80枚(3.6×5.4) グリーンシート2枚(5.4×7.2) イエローシート13枚(2.0×4.0) 黒色シート3巻 オイルマット1020枚 吸着マット式オイルフェンス2本(10m×2) オイルフェンス100m(10m×10) ロープ1巻 荒縄11巻 歩み板67枚(4m) 鉄筋50本(Φ16mm) 平鋼20枚(2m) 塩ビ管10本(UV100:4m) 大型土のう210袋 耐候性大型土のう284袋 袋詰玉石200袋(1t)
気仙川	大船渡土木センター所長	陸前高田市横田町字西宿	S46	115	スコップ17 掛矢8 ハンマー2 ヘンチ4 おの8 のこぎり6 一輪車10台 鎌5 ツルハシ5 唐鎌5 ナタ4 カッター0 金槌7 バリ2 フォーク10 トビクチ4	土のう200 松丸太38 鉄線75kg 杉丸太10 雑木杭75 オイルマット500枚(5箱) <u>オイルマット124枚(50×24)</u> オイルフェンス50m <u>オイルフェンス400枚</u> ロープ1巻 ビニールシート5枚 歩板10枚 塩ビパイプ4本 鉄パイプ6本 鉄筋145本 竹54本 二子縄60m 大型土のう200袋 <u>丸太1丸 油処理剤7缶 たる木(4m)33本 ホットコット40袋</u>
猿ヶ石川	遠野土木センター所長	遠野市遠野町37地割	H24	115	スコップ18 掛矢3 唐くわ9 つるはし19 一輪車2	土のう13,240 ジャコフ53kg 鉄線20kg 松丸太3本 ビニールシート66枚 ロープ4巻 オイルマット557枚 荒縄5巻 木杭(丸)143本 木杭(角)9本 鋼杭32本 オイルフェンス146m
鶴住居川	沿岸広域振興局土木部長	釜石市鶴住居日の神	S46	115	スコップ48 掛矢7 ハンマー3 つるはし14 とうが12 おの1 一輪車4	土のう6,595 蛇かご15 鉄線25kg5束 木杭253 角杭45 ビニールシート95 ロープ3巻 オイルフェンス10m×9+20m×5+2m×10本 オイルマット1,400枚
閉伊川	宮古土木センター所長	宮古市小山田4地割字中林前96番1	S46	115	かま4 スコップ24 掛矢6 ハンマー5 投光器2 ノコギリ1 かま10 おの4 掛矢4 とびぐち1 竹ざお27本 ハンマー(大)7 一輪車6 ナタ11	土のう15,000 松丸太127 ジャコフ19 鉄線80kg ビニールシート5 木杭96 オイルマット200枚 ロープ3巻 オイルフェンス220m コムシート5
小本川	岩泉土木センター所長	岩泉町松橋17の1	H3	107	スコップ49 のこぎり1	土のう125 丸太56 木杭540 ビニールシート7 ロープ2巻 オイルマット400枚 オイルフェンス10組 油処理分散洗浄剤45ℓ
久慈川	県北広域振興局土木部長	久慈市川崎町1-33	S45	115	スコップ65 ヘンチ2 つるはし22 ハンマー5 投光器2 ノコギリ1 かま10 おの4 掛矢4 とびぐち1 竹ざお27本 ハンマー(大)7 一輪車6 ナタ11	木杭180 ナイロンカーテージ4巻 松丸太90 荒縄9巻 ビニールシート12 土のう8,000袋 鉄線6巻 オイルマット1100枚 オイルフェンス104m コンクリートパネ7枚 油中和剤30函 大型土のう70袋
馬淵川	二戸土木センター所長	二戸市金田一字八ツ長88-1	H9	108	スコップ7 掛矢2 のこぎり1 つるはし5 かま11 ハンマー(大)1 鈍2 胴長2	土のう6,000 松丸太86本 オイルマット500枚 ビニールシート75枚 麻袋60袋 コンパネ102枚 オイルフェンス48m 松杭78 ボール30 トロープ3巻 荒縄6巻

図表 9-2 水防資機材・器具の備蓄状況

備蓄場所：消防資機材倉庫（消防署）

水防資機材・器具の備蓄状況

種別	保管場所／数量				合計
	消防署	田老分署	新里分署	川井分署	
スコップ	157	11	42	60	270
ツルハシ	32	0	0	0	32
カケヤ	27	3	0	3	33
竹割器	0	0	0	0	0
カマ	27	4	0	0	31
ノコ	20	2	0	0	22
ナタ	14	2	0	0	16
唐鋤	10	3	56	106	175
一輪車	8	0	0	0	8
ハンマー	8	1	0	0	9
チェーンソー	0	0	0	0	0
ミゼットカッター	0	0	0	0	0
麻袋	0	0	0	0	0
ビニール袋（土のう袋）	1000	1270	0	0	2270
杭木	500	0	0	0	500
竹	23	0	0	0	23
ムシロ	70	0	0	0	70
縄	12	0	0	0	12
ベニヤ板	3	0	0	0	3
ビニールシート	92	5	19	0	116
鋼杭	0	0	0	0	0
吸水土のう	0	0	0	0	0
柴木	0	0	0	0	0
斧	9	2	0	0	11
ペンチ	4	1	0	0	5
荷造りロープ	0	0	0	0	0
鉄線	0	0	0	0	0

図表 1 6 - 1 浸水想定区域・公表河川一覧

河川名	浸水想定公表時点	関係市町村	入手方法
閉伊川	H18. 3. 24	宮古市	「いわてデジタルマップ」で閲覧可（HP検索）
瀬月内川	H20. 6. 20	九戸村、軽米町	
久慈川	H18. 9. 29	久慈市	
夏井川	H18. 9. 29	久慈市	
長内川	H18. 9. 29	久慈市	
大槌川	H20. 6. 20	大槌町	
鶉住居川	H20. 6. 20	釜石市	
盛川	H18. 9. 29	大船渡市	
津軽石川	H18. 3. 24	宮古市、山田町	
甲子川	H22. 3. 12	釜石市	
関口川	H20. 8. 12	山田町	
夏川	H29. 6. 16（想定最大規模）	一関市	
猿ヶ石川	H30. 11. 20（想定最大規模）	遠野市	
早瀬川	H30. 11. 20（想定最大規模）	遠野市	
砂鉄川	H30. 10. 23（想定最大規模）	一関市	
気仙川	H30. 10. 30（想定最大規模）	陸前高田市・住田町	
北上川	H30. 6. 15（想定最大規模）渋民地区	盛岡市	
	H30. 9. 28（想定最大規模）五日市地区		
松川	H30. 6. 15（想定最大規模）好摩地区	盛岡市	
	H30. 11. 9（想定最大規模）西根地区		
梁川	H30. 6. 16（想定最大規模）	盛岡市	
小本川	H30. 6. 15（想定最大規模）	岩泉町	
馬淵川	H30. 9. 28（想定最大規模）	二戸市、一戸町、葛巻町	
安比川	H30. 9. 28（想定最大規模）	二戸市、一戸町、八幡平市	
馬淵川	H30. 9. 28（想定最大規模）	二戸市、一戸町、葛巻町	
猿沢川	H30. 10. 23（想定最大規模）	一関市	
曾慶川	H30. 10. 23（想定最大規模）	一関市	
大股川	H30. 10. 30（想定最大規模）	住田町	
衣川	H30. 12. 14（想定最大規模）	奥州市、平泉町	
瀬月内川	R1. 5. 24（想定最大規模）	九戸村	
雪谷川	R1. 5. 24（想定最大規模）	軽米町	

甲子川	R1. 5. 24 (想定最大規模)	釜石市
鵜住居川	R1. 5. 24 (想定最大規模)	釜石市
盛川	R2. 2. 12 (想定最大規模)	大船渡
大槌川	R2. 8. 21 (想定最大規模)	大槌町
小槌川	R2. 8. 21 (想定最大規模)	大槌町
関口川	R2. 8. 21 (想定最大規模)	山田町
矢作川	R2. 9. 29 (想定最大規模)	陸前高田市
雫石川	R3. 3. 9 (想定最大規模)	雫石町
和賀川	R3. 3. 30 (想定最大規模)	西和賀町
閉伊川	R3. 5. 28 (想定最大規模)	宮古市
津軽石川	R3. 5. 28 (想定最大規模)	宮古市
胆沢川	R3. 6. 29 (想定最大規模)	奥州市
普代川	R3. 6. 29 (想定最大規模)	普代村、田野畑村
久慈川	R3. 7. 30 (想定最大規模)	久慈市
長内川	R3. 7. 30 (想定最大規模)	久慈市
夏井川	R3. 7. 30 (想定最大規模)	久慈市、洋野町
宇部川	R3. 10. 29 (想定最大規模)	久慈市、野田村
安家川	R3. 10. 29 (想定最大規模)	岩泉町、野田村
稗貫川	R4. 2. 4 (想定最大規模)	花巻市
大川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	一関市
千厩川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	一関市
小鳥瀬川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	遠野市
人首川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	奥州市
刈屋川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	宮古市
長沢川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	宮古市
岩崎川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	矢巾町、紫波町
太田川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	矢巾町、紫波町
芋沢川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	盛岡市、矢巾町
諸葛川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	盛岡市、滝沢市
木賊川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	盛岡市、滝沢市
木賊川放水路	R4. 3. 22 (想定最大規模)	盛岡市、滝沢市
巢子川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	滝沢市
夏油川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	北上市
綾里川	R4. 3. 22 (想定最大規模)	大船渡市

図表 18-1 砂防指定地指定表

(令和4年1月1日)

番号	支溪名	市町村名	指定年月日
32	長沢川	宮古市	S15.7.6
33	夏屋川	宮古市	S15.7.6
37	夏屋川	宮古市	S15.10.23
43	長沢川	宮古市	S18.6.18
44	夏屋川	宮古市	S18.6.18
67	薬師川	宮古市	S26.10.2
81	閉伊川	宮古市	S27.5.14
82	刈屋川	宮古市	S27.5.24
117	長沢川	宮古市	S34.2.16
122	撰待川	宮古市	S34.10.1
133	安庭沢	宮古市	S35.11.29
134	夏屋川	宮古市	S35.11.29
135	神田川	宮古市	S35.11.29
141	薬師川	宮古市	S36.12.8
149	神田川	宮古市	S37.11.8
150	長内川	宮古市	S37.11.8
159	堺の神沢	宮古市	S38.9.14
187	長沢川	宮古市	S40.7.10
188	刈屋川	宮古市	S40.7.10
201	長沢川	宮古市	S41.8.9
202	養呂地川	宮古市	S41.8.9
213	田代川	宮古市	S42.3.31
230	田代川	宮古市	S42.11.25
242	北ノ又川	宮古市	S42.12.28
256	近内川	宮古市	S44.1.16
278	藤畑沢	宮古市	S45.10.6
279	田代川	宮古市	S45.10.6
293	赤前沢	宮古市	S46.10.5
299	長内川	宮古市	S47.3.16
316	黒森沢、支流	宮古市	S47.11.16
354	藤畑沢	宮古市	S49.7.9
364	近内川、大又沢	宮古市	S50.1.30

365	尻石沢	宮古市	S50. 1. 30
389	薬師川	宮古市	S52. 1. 27
390	長内川	宮古市	S52. 1. 27
424	薬師川	宮古市	S54. 11. 14
469	小堀内川	宮古市	S57. 5. 25
504	大森沢、同右支流	宮古市	S60. 6. 14
508	田の沢	宮古市	S60. 9. 18
530	判官沢	宮古市	S62. 3. 16
542	長内川	宮古市	S62. 12. 5
564	田の沢	宮古市	S63. 11. 8
570	赤前上沢	宮古市	S63. 12. 12
589	ウシロガ沢	宮古市	H1. 10. 6
625	田の沢	宮古市	H4. 2. 4
626	馬越沢	宮古市	H4. 2. 4
642	ウシロガ沢	宮古市	H4. 12. 25
659	シリタカ沢	宮古市	H6. 1. 21
668	峰ヶ沢	宮古市	H6. 11. 10
669	馬越沢	宮古市	H6. 11. 10
712	中沢	宮古市	H9. 6. 3
733	山根町の沢	宮古市	H1. 3. 17
736	川井の沢	宮古市	H12. 1. 20
741	大沢の沢及び大石上の沢	宮古市	H12. 5. 10
742	中沢の沢	宮古市	H12. 5. 10
743	内の沢及び平波沢	宮古市	H12. 5. 10
751	堀内の沢	宮古市	H12. 11. 28
778	宿の沢	宮古市	H15. 2. 13
784	堺の神沢	宮古市	H15. 12. 16
785	田の沢	宮古市	H15. 12. 16
793	本町の沢	宮古市	H16. 10. 15
795	内の沢及び平波沢	宮古市	H17. 2. 16
806	本町の沢	宮古市	H21. 1. 20
829	新町の沢	宮古市	H25. 9. 4
847	小国川	宮古市	H30. 12. 26
848	小国川	宮古市	H30. 12. 26
849	閉伊川	宮古市	H30. 12. 26
852	刈屋川	宮古市	H30. 12. 26
853	刈屋川	宮古市	H30. 12. 26
870	泉沢（４）	宮古市	R3. 1. 21
合計	70カ所		

